

早川よしゆき 市政報告

第 62 号

新しい希望の年を お迎えられたことと お慶び申し上げます

私の思い

まず、一月一日に能登半島で震度7の大震災が発生し、多くの方々がお亡くなりになりました。ここに改めてご冥福をお祈りしますと共に、一日も早い復旧、復興を心よりお祈りいたします。さて、昨年はコロナ感染が5類に移行したこと



2024年 (令和6年) 予算編成方針

本市にあっても出生数の減少や若い世代の転出超過が続いており、人口の更なる減少が懸念される。激甚化・頻繁化する自然災害や急速に進展するデジタル化原価価格・物価高騰等の対応も急務だ。世界ばら会議福山大会に向けて万全の態勢を構築していかななくてはならぬ3つの必要な重点的に投資する。

- (1) あらゆる世代が輝く魅力あるまちづくり
- 1 「少子化対策の充実」と「若者の地元定着の促進」等により福山で生まれ、学び、働き、そして子育てができる環境づくりをする。
- 2 「規制緩和による新たな産業用地の創出」「福山市立大学新設」に向けた着実な取り組み等により、地域経済を支える人材の確保、育成の強化をすめ、若い世代から選ばれる企業の集積を構築する。
- (2) 安心・安全で快適に暮らすことができるまちづくり

自然災害に備えた「防災・減殺の強化」や「原油価格・物価高騰対策の推進」により市民生活と企業活動を守る。

(3) デジタル化の推進
地域コミュニケーションのデジタル化・オンライン申請等によるスマート市役所の実現、地域、行政のデジタル化を一体的に推進する。

「私の思い」

福山にはオンリーワン・ナンバーワンの企業が100近くあるように把握しています。それなのに何故、若者が流出するのか、若者がこの街に魅力を感じているのだろうか？

福山市民球場を建て替え、カープのレギュラーシーズンを応援したいのでは。

福山市の財政指標の見込みについて

新年度は歳入では、地方交付税の増加がみこまれるものの、歳出では社会保障関連費・人件費・交際費等経常的経費等の経常的経費の増加が見込まれる。また、今後においては少

子高齢化社会の更なる振興により市税の増加は期待できず、社会保障関連経費の増加が予想される。

さらに5か年で抜本的な浸水対策を積極的に展開し、大規模なごみ処理施設の建設などのインフラ整備を進めた結果、市債発行額が2026(令和8)年度に最高額になり、また2038(令和20)年度ごろには公債費が最高額になる予定です。

基金、いわゆる貯金の合計は約465億円余りです。中長期的視点に立ち、災害に備えて単年度の収支状況を注視してまいります。

地元の課題

昨年の3月、山野小学校・山野中学校は加茂小学校・加茂中学校に再編されました。山野小学校の校舎や体育館はすでに除去され、残る山野中学校の校舎と体育館の施設を含めた跡地利用について、地元の町内会連合会長さん等とともに陳情にあがりました。

山野町は過疎化の進捗が著しく、平成30年の豪雨による災害も受けられ、厳しい過疎が進むなかで日々の



2023(R5)年12月13日
市長応接室にて

生活をされています。そうした中で新しい交流館構想に大きな期待がよせられています。

早川佳行の 主な役職

福山市議会議員

七期目

70才

民生福祉委員会委員
地方創生調査特別委員会委員
福山市土地開発公社監事

他

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 (084)972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 (084)972-8999
FAX (084)972-2093

水曜会

第62号

令和6(2024)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



はらのまち福山

12月定例市議会

定例会を11月28日から12月18日にかけて開催。世界バラ会議福山大会に向けて基金の積立金や、公共施設の光熱費高騰に対応する経費などを盛り込んだ一般会計補正予算案など49議案が上程され、賛成多数で可決しました。

2025年に開かれる世界バラ会議福山大会に向け、基金を創設

今回の補正は、世界バラ会議福山大会に向け、



福山市議会 水曜会

12月補正予算の概要

	1次分	2次分
一般会計	75億3,923万円	54億3,117万円
特別会計	3,028万円	
企業会計		
小計	①75億6,951万円	②54億3,117万円
③全会計合計	①+②130億68万円	

緑町公園ばら花壇へ苗木の植え付けや、「世界バラ会議福山大会記念基金」を創設。芸術、文化活動を推進するため、新年度から開始する定期演奏会に向け、チケット販売などの準備費や、公共施設の光熱費の高騰に対応する経費などです。そのほかには、条例に基づく財政調整基金の積立金などです。財政調整基金は、災害などの不測の事態や年度間の財源不足に備えるため、決算譲与金などを積

12月補正予算(主な事業)

一次分では、

原油価格・物価高騰対策分	2億8,480万円
公共施設光熱費等高騰対応	
新型コロナウイルス感染症対策分	2億8,946万円
介護サービス継続支援事業費補助	
通常分	
世界バラ会議福山大会記念基金積立金	5億1,925万円
公共施設等の整備	3,847万円
文化・芸術活動の推進	170万円
地域集会施設建設費補助 10団体	431万円
事業費の整理に伴うもの	18億8,472万円
財政調整基金積立金	23億7,000万円
国庫負担金等返還金	18億7,507万円
寄付金対応	1,057万円
後期高齢者医療特別会計	1,059万円
人件費分	
人件費等	2億8,054万円

二次分では、住民税非課税世帯に、一世帯あたり7万円を支給する国の物価高騰対策分43億580万円を計上。省エネ家電買替支援事業費に2億4,000万円、その他では、中小事業者向けにLPガス料金高騰分の支援や、介護・障害福祉サービスの食材費補助などです。



2022年アデレード大会にて

み立てるものです。なお、補正後の財政調整基金残高は、約177億円となります。

二次分では、国の総合経済対策を踏まえ、物価高から市民生活を守るため、住民税非課税世帯を対象とした給付金の給付や、省エネ性能の高いエアコンと冷蔵庫への買い替えを補助する事業費など、市民や事業者に対する支援を実施するもので約54億3000万円の補正で、一次・二次分補正予算合計では約130億円の予算規模となっております。

物価高から市民を守るため、住民税非課税世帯に給付金を

賛成討論

今回の補正は、コロナ対策としての介護サービス継続支援事業費補助や、公共施設の光熱費等高騰対応、世界バラ会議福山大会に向けた基金積立や、公共施設等の整備のほか、事業費の整理や人事院勧告に伴う人件費等の調整等で、いずれも市民生活に直結した予算であり、早期執行を求め賛成。

一般質問に水曜会から6人が登壇
枝広直幹市長を質す

12月議会の一般質問者は左記のとおりです。

- 小林茂裕 福山の海の環境整備について
 - 大田祐介 輛のまちづくりについて
 - 連石武則 地域振興について
 - 喜田紘平 子どもの見守り体制について
 - 木村素子 若者の居場所支援策について
 - 羽田俊介 保育行政について
- 詳細は、2月1日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。